



THE JAPANESE SCHOOL in LONDON

# ロンドン日本人学校だより 9

学校教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく国際  
社会を生きぬく児童生徒の育成  
合い言葉：自立・貢献

2020(令和2)年

月1日発行 ロンドン日本人学校  
令和2年度 第3号

## 始業式の話 ～ 2学期の学校が目指すもの

校長 石山 秀樹

8月26日(水)、令和2年度始業式の日を迎え、学校に子供たちの元気な姿が帰ってきました。

今回は、その式での話をお伝えします。

…34日間の夏休みを終え、2学期が始まります。私達のロンドン日本人学校では、多くの新たな仲間を迎え、12月23日までの毎日を共に学び、共に過ごしていくこととなります。

この2学期、ロンドン日本人学校では1学期に引き続き、新型コロナウイルス感染症が広がらないように、英国の政府が決めた決まりに注意して生活していかなければなりません。最も大きなポイントは、「違う学年を一緒にした集団で活動しない」ということです。これは例えば、小学部6年生と中学部3年生が同じ行事に取り組んだり、一緒に活動を楽しんだりできないということです。今日、この始業式も、私は小学部1年生から中学部3年生まで皆さんの顔を見ながらお話したいのですが、それは違う学年を一緒にすることになりますので、できないのです。この9月に予定していた文化祭の中止も同じ理由です。これらは、学校としてはとても残念なことです。しかし私は、全世界で2367万人が感染し、81万人の方が亡くなられた新型コロナウイルスのパンデミック(大流行)の拡大を防ぐためには仕方のないことだと思っています。

さて、では学校でできることはなんでしょう。それは、1学期はできなかった、クラスや学年の仲間と一緒に過ごすこと、そして、仲間と共に授業に取り組んだり、休み時間には遊んだりできること、です。それは、この新型コロナが広がる前は、当たり前でできることでした。でも皆さん知っていたとおり、この半年近くはその「当たり前」ができませんでした。できなかったからこそ、私は「当たり前」の大切さや意味について考えさせられました。

学校は、大人になるための準備をするところです。これまでも何度もお話ししてきましたが、大人になるための準備にはいくつもの種類があります。その一つが勉強…学んで自分自身の力をつけることです。ラッキーなことに、今学期は授業の時間がたっぷりとあります。いろいろな教科があると思いますが、先生方はそれぞれ、皆さんとの授業を楽しみに、多くの準備をして今日を迎えています。皆さんには是非、先生方との授業を通

じ多くを学び取り、自分自身をパワーアップさせてほしいと願っています。

大人になるための準備その2として皆さんに取り組んでほしいことは、仲間と積極的に関わることです。皆さんが大人になって社会に出たとき、勉強ができるだけではうまくいかないことも多いです。それは、社会が人と人との関わりでできているからです。積極的に関わる、というのは、相手の立場に立って物事を考えたり、皆で何かをするときにどうやればうまくいくか考えて取り組んだり、学年やクラスや仲間のために取り組んだり…といったことです。この2学期からできるようになった、仲間と過ごす毎日の中で、こうしたことに取り組み、「関わる力」をパワーアップさせてほしいと願っています。皆さん自身は、どんな2学期にしていきたいですか？

最後にもう一つ、皆さんにお願いがあります。それは、新型コロナウイルス感染症が広がらないための取組をしっかりと続けてほしいということです。それは例えば、手洗いや消毒、仲間との距離を保つことなどなど、睡眠をしっかりとって身体の調子を整えることも入るかもしれません。先生方は皆さんに取組を教えてくださいますが、実行するのは皆さんです。もし学校で感染が広がれば、そのときにはクラスや学年、場合によっては学校を閉じなければならなくなります。それでは先ほどお話ししたような、2学期にやろう、と思ったことができなくなることにつながるでしょう。私はそうたくありません。皆さん一人ひとりが感染予防に取り組む、ロンドン日本人学校での毎日を支えてほしいと望んでいます。

2学期の毎日を、皆さん自身の力で良い毎日にしていきましょう。

### 授業時数の確保について

本校では1学期の間、「オンライン学習支援」と「全学年分割登校による授業実施」に取り組んでまいりました。この間、不足した授業内容の取扱いについて、保護者の皆様から御質問をいただきましたので、この場で学校の対応をお伝えします。

まず、1学期の学校一時閉鎖期間中、学年により差がありますが、31日～35日間の授業日がありました。1学期は本来であれば行事も多い時

## コロナ禍“第2波”に備える

期であり、この期間の内、11%～15%は校外行事や保健行事等に充てられる予定でしたので、例えば小6は、およそ28日間分の授業の不足ということになります。

次に、6月に全学年分割登校で学校を再開した後の授業日です。当時の英国の指針に沿い、さらに派遣教師が派遣されない中での実施となったため、この期間は1週間あたりで通常の40%の授業を実施しました。この結果、また小6を例に挙げれば、行事を差し引いておよそ18日分の授業が不足し、一時閉鎖期間中と合わせれば、計算上では約46日間分の授業が不足した結果でした。

それでは、この授業不足をどうするか、その対応です。本校では対応として、①行事及び行事準備時間等の授業時間への転用、②毎朝、15分間の「朝学習」の時間を設けて授業の取組を進める、③指導内容の「精選」の3つの策を実施します。

①では、今年度新型コロナウイルス感染症のため中止せざるを得なくなった全校行事・学年行事等の時数を授業に差し替えるものです。合い言葉「貢献」で象徴する、行事やその準備の中で本校が子供たちの中に育む力は、学力向上と共に重視しておりますが、今年度は英国の感染防止の指針に基づき多くの行事が中止となります。それらの時数を活用して授業を行います。

②は、15分の朝学習を各教科授業のカリキュラムに位置付け、例えば今までは通常の授業中に行っていた小テストなどをこの時間に実施することで、授業を効率的に進めようとするものです。特に中学部では、教師の派遣がなされないために1学期に授業を実施できなかった国語について、この時間に集中的に取り組みます。

これらの取組により、授業時数では国語・社会・算数/数学・理科・英語では85%、他の技能教科では70%の実施を目指します。

③は、各教科において指導にかける時間を精査し、これまでよりも少ない時数で内容を扱っていくことを指します。これは例えば、中3理科で「仕事とエネルギー」の内容を今まで15時間かけて扱っていたところ、「まとめ」や「発展問題」の時間を短くすることで13時間で扱う、といったものです。もちろん、今まで時間をかけてじっくりと取り組んでいたところがなくなるわけですが、児童生徒に一定の負担がかかる可能性はありますが、各教科担当はその可能性を踏まえて指導してまいります。

以上の3つを合わせ、本校では早い教科は年内に、また遅くとも年度内には通常の指導計画に沿った形で授業が行われるように進めてまいります。

1学期に保護者の皆様に御協力いただきました「オンライン学習支援にかかわるアンケート」では、本校のオンライン学習支援について、肯定的な回答をお寄せいただいたのは、中学部で81.1%、小学部で97.3%という結果でした(アンケート結果につきましては、後日、結果を御案内いたします)。また、記述では多くの具体的な御意見や御要望、御提案をいただくことができました。ここではその中で特に多かった「コロナ禍『第2波』により再び学校閉鎖を余儀なくされた際の学習」について、学校の考え方をお伝えしたいと思います。

結論から申し上げますと、次に学校が長期にわたって閉鎖せざるを得ない状況となった際には、学校は「オンライン授業配信」を実施の予定です。

前回1学期、本校が「オンライン授業」ではなく「オンライン学習支援」を実施した理由は3つありました。1つ目は、新派遣者が着任していなかったことによる教師の不足とICT機器の習熟が間に合わなかったこと。2つ目は、年度当初で日本から来英したばかりの御家庭、日本へ緊急に一時帰国した御家庭など、様々な状況の御家庭が全校の28%であり、ネット接続や実施時間帯、また兄弟姉妹それぞれの端末準備の問題等、全ての子供が学習を進められる授業プログラムを組むことが現実的ではなかったこと、3つ目には、オンライン授業の土台となる本校校内の無線LAN等のICT環境が不備であったことがあげられます。

第2波に備え、3つ目の理由であった校内ICT環境整備はこの夏休みに工事を実施し、現在は試験運用中です。1つ目の理由として挙げた教師の不足とICT習熟の問題は解消しつつあります。2つ目の御家庭での受信環境につきましては保護者の皆様にお申し立てはなりません。現在のところ学校では、通常的时间割のように複数の学年が同じ時間に授業を配信していく計画を準備していくところです。

以上の取組により、「万が一」の際にも、子どもたちの学習を1学期よりも一層保障できる体制を整えてまいります。

## 教職員の異動について

9月末まで病休をとられている田中典子<sup>たなかのりこ</sup>先生の代員として太田百合子<sup>おおたゆりこ</sup>先生が着任しました。また、新たに英会話講師として、Monika Swaitek<sup>モニカ スワitek</sup>先生、Alessandra Pelissa<sup>アレッサンドラ ペリッサ</sup>先生、石川美加<sup>いしかわみか</sup>先生の3名が着任しました。

どうぞ、よろしく申し上げます。